



年齢：6歳以上
人数：2～6人
セット内容：カード56枚
ベル：1個



プレイヤーは順番に自分のカードを表向きにして場においていきます。場に同じフルーツが5個そろったらすぐにベルを鳴らします。最初にベルを鳴らすことができた人が、場に出ているカードを全部もらいます。最後に一番たくさんカードを持っている人の勝ちです。ルールを少し変えるだけで3歳くらいからあそべます。

「ゲームの準備」

テーブルの中央にベルをおきます。カードをよくきって、各プレイヤーに全て配りきり、配られたカードはふせたまま山にして自分の前におきます。この時カードを見てはいけません。

◇ベルを間違えて鳴らしたら！

ペナルティとして手持ちのカードから1枚ずつを他のプレイヤーにあげなくてはなりません。カードを受け取ったプレイヤーは裏向けにしたまま自分の手札の山の下に足しておきます。

◇さようなら！

手持ちのカードが無くなっても、ゲームに参加してベルを鳴らすことはできます。

場に出した表向きのカードの山を他のプレイヤーに取られるか、まちがえてベルを鳴らしてしまった時点でゲームから抜けます。

「ゲームの終了と勝者」

最後は2人の勝負となり、フルーツの数が「5」になった時に先にベルを鳴らしたプレイヤーが場のカードをもらいここでゲームは終了です。

ただし特別ルールとしてどちらかが間違えてベルを鳴らしてしまったらもう一人のプレイヤーが場のカードをもらってゲームが終了になります。

もし二人が続けたいのであれば、どちらかが全てのカードを勝ち取るまでゲームを続けてもかまいません。

最後に一番たくさんカードを持っていたプレイヤーの勝ちになります

「ゲームの手順」

順番を決めて時計回りにすすめます。

プレイヤーは手番がきたら自分のカードの山の上のカードを1枚表向きに(フルーツが見えるように)場に置きます。前の回に自分が出したカードの上に積み重ねていきます。

カードを表にするときは、自分の反対側から開くようにして他のプレイヤーより先に絵を見ることができないようにします。



◇いつベルを鳴らすの？

場に置かれていくカードをよく見てください。4種類のフルーツのうち、**同じフルーツの個数の合計が「5」になった時**、1番最初にベルを鳴らしたプレイヤーは場に出ている表向きのカードの山を全部もらうことができます。



「バリエーションルール」 簡単な遊び方

ゲームの進め方は基本的な遊び方と同じですがルールを変えてあそびます。

①数に関係なく、**特定のフルーツ**を決めて(例えばバナナ)そのフルーツの絵が出たらベルを鳴らす。

②フルーツに関係なく、**特定の数**が出たらベルを鳴らす。

③はじめのうちはカードの枚数を減らして遊ぶと年齢の低い子どもにも理解しやすいでしょう。

例：フルーツの種類を限定して配る。あるいはカードに描かれているフルーツの個数が1～3個までのカードに限定して使用するなど

※ルールをより理解しやすいするために株式会社エルフが一部内容を意識しています。
※2022年版改定ルール

AMIGO 社(ドイツ)

輸入元: **elf** 株式会社エルフ

<http://www.elfnet.co.jp/>